葬式の行列

田中貢太郎

青空文庫

鶴岡の城下に大場宇兵衛という武士があった。其の大場は同僚の寄合があったので、それに往っていて夜半比に帰って来た。北国でなくても淋しい屋敷町。其の淋しい屋敷町を通っていると、前方から葬式の行列が来た。夕方なら唯もかく深夜の葬式はあまり例のない事であった。大場は行列の先頭が自分の前へ来ると聞いてみた。

「何方のお葬式でござる」

対手は躊躇せずに云った。

「これは大場宇兵衛殿の葬式でござる」

「なに、おおばうへえ」

「そうでござる」

行列は通りすぎた。宇兵衛は気が転倒した。そして、家へ帰ってみると、玄関前に焚火をしたばかりの痕があった。それは葬式の送火であった。

大場は其の晩からぶらぶら病になって、間もなく送火を焚かれる人となった。

青空文庫情報

底本：「怪奇・伝奇時代小説選集3　新怪談集」春陽文庫、春陽堂書店
　　1999（平成11）年12月20日第1刷発行
底本の親本：「新怪談集　物語篇」改造社
　　1938（昭和13）年
入力：Hiroshi_O
校正：noriko saito
2004年8月20日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

葬式の行列

田中貢太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/